

## 特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報（事後公表）

## 【担当課：政策企画室広報担当】

議 題	大阪市の広報について（改善に向けた意見聴取）
日 時	令和元年9月9日（月曜）13時30分～15時40分
場 所	大阪市役所本庁舎5階秘書担当会議室
出 席 者	（特別顧問・特別参与）： 清水特別参与 山本特別参与 （職員等）： 政策企画室（市民情報部長・広報担当課長 外4名） 副首都推進局（戦略調整担当課長代理 外2名）
論 点	・大阪市の各種広報媒体及び広報手法について
主 な 意 見	（大都市制度周知広報） ・背景に色を付ける部分と付けない部分を作ること、紙面にメリハリができる。 ・全体の構造をわかりやすくするため、図の左右で状況が変化する様子を表す場合は、変化する部分に対応させるため、高さを揃えた方がよい。 ・図で流れを表現する場合、上から下へ記載していく方が読み手にとっては自然な流れであるので、紙面構成をする際に参考にするとよい。 ・市民になじみのない行政的な言葉は、できるだけわかりやすい表現に置き換えられないか検討した方がよい。 （映像コンテンツ作成方針） ・映像を作るにあたっては、映像の内容もさることながら、この映像をだれがいつ見てどのようなアクションにつながる、という戦略が肝で、そこを想定しながらストーリーを組み立てていかないと、こちらが思う結果に近づいていかない。 ・ユーザー視点の研究が必要。ユーザーをどう押せば先に進んでくれるのか、直にユーザーと接している担当から抽出した後に制作にかかるべき。
結 論	・ 本日の助言を踏まえ、改善に向け検討を進める。
説明等資料	
備 考	
関 係 所 属 （ 部 課 ）	政策企画室市民情報部広報担当 副首都推進局戦略調整担当